



Hewlett Packard
Enterprise

Intelligent Provisioning 3.00 リリースノ ート

部品番号: 881705-191
発行: 2017 年 7 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品、およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。Hewlett Packard Enterprise は本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から許諾を得る必要があります。米国政府の連邦調達規則である FAR 12.211 および 12.212 の規定に従って、コマーシャルコンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーションおよびコマーシャルアイテムのテクニカルデータ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダーが提供する標準使用許諾規定に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクを使用すると、Hewlett Packard Enterprise Web サイト外に移動します。Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報は Hewlett Packard Enterprise の管理対象外であり、それらの情報について責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Linux[®]は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat[®]は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

Intelligent Provisioning 3.00 リリースノート

説明

Intelligent Provisioning は、オペレーティングシステムをインストールする、単一サーバー展開ツールです。すべての ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールに内蔵されています。Intelligent Provisioning は、ウィザード形式でオペレーティングシステムに必要なほとんどのドライバーを提供します。

Intelligent Provisioning は、前の世代の ProLiant サーバーで使用されていた SmartStart CD および Smart Update Firmware DVD に代わる機能で、これらの CD/DVD をベースにして改善が加えられています。

Intelligent Provisioning では、以下の世代および関連バージョンをサポートしています。

- Gen8 : 1.x バージョン
- Gen9 : 2.x バージョン
- Gen10 : 3.x バージョン

このドキュメントでは、サポート情報、拡張機能、および既知の問題と解決方法など、このリリースの Intelligent Provisioning に関する情報を提供します。特定の問題の解決方法については、Intelligent Provisioning ユーザーガイドのトラブルシューティングの章を参照してください。

Intelligent Provisioning のユーザードキュメントは、Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) から入手できます。

置き換えられるバージョン

最初のリリースです。

製品モデル

Intelligent Provisioning の現在のリリースでは、ProLiant Gen10 サーバー and HPE Synergy compute modules をサポートしています。サポートされているサーバーの完全なリストについては、*Intelligent Provisioning Server Support Guide* を参照してください。

バージョン

3.00

オペレーティングシステムおよびデバイス

Intelligent Provisioning では、次のオペレーティングシステムをインストールできます。

- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Red Hat Enterprise Linux 7.3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2
- vSphere 6.0 Update 3、6.5、6.5 Update 1

注記:

Gen10 サーバーでは、ClearOS は <http://www.hpe.com/servers/clearos> からのダウンロードに利用できます。

Intelligent Provisioning からのダウンロードは、以降のバージョンで使用可能になります。

OS 別にサポートされるモードおよびインストールタイプ

OS	サポートされるモード			インストールタイプ	
	UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	○	○	○	○	○
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	○	○	○	○	○
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	○	○	NA	○	○
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	○	NA	NA	○	○
vSphere 6.0 Update 3	○	○	NA	○	○
vSphere 6.5	○	○	NA	○	○
vSphere 6.5 Update 1	○	○	NA	○	○

注記:

Windows Essentials では、Intelligent Provisioning によるネットワークインストールはサポートされていません。

Intelligent Provisioning での使用がサポートされているソースメディアのタイプは、次のとおりです。

DVD（ディスク）インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	○	○
Windows Server 2016 Essentials	○	○
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、Hyper-V、および Essentials	○	○
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	○	○

表は続く

OS	自動	手動
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	○	○
vSphere 6.0 Update 3	○	○
vSphere 6.5	○	○
vSphere 6.5 Update 1	○	○

Common Internet File System (CIFS) のインストール方法

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	○	NA
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、および Hyper-V	○	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	NA	NA
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 64 ビット	○	NA
vSphere 6.0 Update 3	○	NA
vSphere 6.5	○	NA
vSphere 6.5 Update 1	○	NA

FTP インストール方式

OS	自動	手動
Red Hat Enterprise Linux 7.3 64 ビット	○	NA
vSphere 6.0 Update 3	○	NA
vSphere 6.5	○	NA
vSphere 6.5, Update 1	○	NA

USB インストール方式

OS	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	○	NA
Windows Server 2016 Essentials	○	NA
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、および Hyper-V	○	NA
Windows Server 2012 R2 Essentials	○	NA
vSphere 6.0 Update 3	○	NA
vSphere 6.5	○	NA
vSphere 6.5 Update 1	○	NA

Always On Intelligent Provisioning

OS	サポートされるソースメディア	サポートされるモード			インストールタイプ	
		UEFI	レガシー	セキュアブート	自動	手動
Windows Server 2016 Standard、Datacenter、および Hyper-V	CIFS	○	○	○	○	NA
Windows Server 2012 R2 Standard、Datacenter、および Hyper-V	CIFS	○	○	○	○	NA
Red Hat Enterprise Linux 7.3 x64 ビット	FTP	○	○	NA	○	NA
SUSE Linux Enterprise Server 12.2 x64 ビット	CIFS	○	○	NA	○	NA
vSphere 6.0 Update 3	CIFS/FTP	○	○	NA	○	NA
vSphere 6.5	CIFS/FTP	○	○	NA	○	NA
vSphere 6.5 Update 1	CIFS/FTP	○	○	NA	○	NA

StoreVirtual VSA のサポート

Intelligent Provisioning 3.00 以降は StoreVirtual VSA をサポートしません。

最寄りのミラーサーバーからインターネット方式

サポートされるサーバー、ファームウェア、ソフトウェア、およびドライババージョンについては、Intelligent Provisioning Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) で入手できる Intelligent Provisioning Server Support Guide を参照してください。

機能強化

- Gen10 サーバー、オプション、およびオペレーティングシステムのサポート。
- Always On を使用して iLO Web ブラウザーのユーザーインターフェイスから Intelligent Provisioning にアクセスするためのサポート。
- アップデートのダウンロード時間を短縮するための、ダウンロード可能なパッケージおよび特定のアップデートのサイズの縮小。
- アプリケーションを切り替えたり再起動せずに iLO を介してユーザーの PC またはタブレットからオフラインで使用可能。
- Intelligent Provisioning のすべてに対応する単一の GUI。
- リカバリ方法の改善。システムをリカバリするために、安全で署名済みの Intelligent Provisioning ブートイメージをクライアントに提供可能。既知の良好なコピーからファームウェアおよび OS イメージをリロード可能。
- 追加のオペレーティングシステムのサポートを追加：Red Hat Enterprise Linux 7.3、SUSE Linux Enterprise Server 12 SP2、vSphere 6.5、および vSphere 6.5 Update 1。

Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係

Intelligent Provisioning のバージョン	SPP リリースセット	iLO のバージョン
Intelligent Provisioning 3.00	SPP v2017.07.0	iLO 5、v1.10

インストール手順

ProLiant Gen10 サーバー and HPE Synergy compute modules には、基本的なセットと、Intelligent Provisioning でインストールされているオペレーティングシステムコンポーネントがプリロードされています。一旦サーバーを稼働させた後は、Intelligent Provisioning のファームウェアの更新を使用して、サーバーを製造してからすでに古くなったコンポーネントをアップデートしてください。

注記:

ファームウェアアップデートの試行を使用するときには、コンポーネントのインストール済みバージョン（画面中央に表示）が、画面の右側に示されているバージョン（利用可能なバージョン）よりも新しいことを確認してください。

アップデート方法については、Intelligent Provisioning のユーザーガイドを参照してください。Intelligent Provisioning の Web サイト (<http://www.hpe.com/jp/intelligentprovisioning>) から最新の Intelligent Provisioning の ISO をダウンロードできます。

既知の問題と推奨処置

このドキュメントに記載されている解決方法を適用することをおすすめします。誤った操作を行うと、ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy コンピュートモジュールの操作と機能が正常に動作しなくなることがあります。

以下のリストは、新しい問題が発見されるか、既知の問題が解決されると更新されます。

- [インストールの問題](#)(8 ページ)
- [操作上の問題](#)(8 ページ)

- [ユーザーインターフェイスの問題](#)(11 ページ)
- [Windows 固有の問題](#)(12 ページ)

インストールの問題

FIPS または高セキュリティモードでアップデートできない

症状

FIPS または高セキュリティモードで Intelligent Provisioning をアップデートすると、点滅エラーが発生する。

原因

高セキュリティモードは現在サポートされていません。

レガシー BIOS モードの自動インストールがタイムアウトする

症状

レガシー BIOS モードで自動インストールが完了しない。

原因

HDD がブート順序で最初の選択肢になっていません。

アクション

1. プレインストールが完了したら、**再起動** をクリックし、iLO にログオンします。
2. ナビゲーションペインで**管理** を選択します。
3. **ブート順序 > サーバーブート順序** を選択し、HDD をブート順序の先頭に設定します。
4. **適用** をクリックします。

オペレーティングシステムはハードディスクドライブから起動し、自動インストールが通常どおり進行します。

操作上の問題

レガシー BIOS モードのいくつかのインストールで特定の手順が必要になる

サーバーブートモードがレガシー BIOS モードに設定されている場合、一部のオペレーティングシステムで特定のインストールが必要になります。

注記:

F10 から起動したバージョンの Intelligent Provisioning からレガシー BIOS モードの動作を変更できず、予期せずに起動することがあります。

レガシー BIOS モードの特定のインストール

- DVD からの VMware/Linux 自動 : UEFI システムユーティリティ (F9) またはワンタイムブートメニュー (F11) のいずれかを使用してハードディスクドライブから起動していることを確認してください。
- DVD からの手動 : 実際に DVD から起動していることを確認してください。

注記:

Windows インストールでは、Enter キーを押して DVD をバイパスし、インストールを開始する必要があります。

システムの消去およびリセットでブートモードがリセットされない

症状

すべての Intelligent Provisioning 環境設定をクリアした後、ブートモードがデフォルトの UEFI 最適化に設定されない。

原因

Intelligent Provisioning 環境設定をクリアしても、Intelligent Provisioning 設定しかリセットされません。

アクション

1. 手動でブートモードを UEFI 最適化ブートに設定します。
 - a. システムユーティリティ画面から、システム構成 > BIOS/プラットフォームの構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI 最適化ブートを選択します。
 - b. 有効を選択します。
 - c. 設定を保存します。
 - d. サーバーを再起動します。

ファームウェアアップデートの試行で間違いが報告されない

症状

ファームウェアアップデートの試行をクリックした後、ファームウェアが最新でない場合でも、Firmware is up to date というメッセージが表示される。

アクション

1. 適切なネットワーク接続と有効な URL が入力されていることを確認します。

注記:

プライベートサーバーをセットアップしている場合、HPE ネットワークパスではなく、ファームウェアアップデートのネットワークパスを入力します。

iLO AHS ログと iloREST AHS ログのサイズが一致しない

症状

インストール後、iLO ページの AHS ログのサイズと Intelligent Provisioning の AHS ログユーティリティのログのサイズが一致しない。AHS ログユーティリティから得られたログのサイズが、iLO ページから収集されたログのサイズより小さい。

アクション

1. 正しいログのサイズについて iLO ページから AHS ログを抽出します。

AHS USB 選択リストが正しくない

症状

AHS ログファイルをダウンロードする方法を決定するときに、USB-SDD1 や USB-SDD2 などの正しくない USB の選択肢が表示される。

アクション

1. 正しくない USB の選択肢を無視して、ダウンロードする USB キーを選択します。USB の選択肢は将来のリリースで修正されます。

PCIe デバイス構成オプションが正しく表示されない

症状

メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成でオプションが正しく表示されない。代わりに、スロット名だけが表示されます。

アクション

1. メンテナンスの実行 > BIOS 構成 (RBSU) にアクセスすると、左ナビゲーションペインでオプションを使用できます。

システムソフトウェアアップデートデリバリオプションを入力していないのに次へボタンが有効になる

症状

初期セットアップウィザードで EULA を受け入れた後、システムソフトウェアアップデートでカスタム URL からアップデートを選択した場合、カスタム URL を入力せずに続行できる。

原因

次へボタンは有効であってはなりません。これは今後のリリースで修正される予定です。

アクション

1. カスタム URL からアップデートすることにした場合、ソフトウェアアップデートのダウンロード元の Web サイトを指定し、次へをクリックします。

HPE SSA 下で HPE Smart アレイ S100i SR Gen10 コントローラーが検出されない

症状

HPE SSA 下で HPE Smart アレイ S100i SR Gen10 が表示されない。

原因

HPE Smart アレイ S100i SR Gen10 コントローラーは、サポートされていないデバイスです。Intelligent Provisioning では SATA RAID をサポートしていません。

アクション

1. UEFI システムユーティリティを使用して、HPE Smart アレイ S100i SR Gen10 コントローラーを表示します。

UEFI モードが Intelligent Provisioning 環境設定に保存されない

症状

ブートモードを変更し、メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定で発行をクリックしても、UEFI モードが保存されない。

原因

UEFI モードのステータスは、サーバーを再起動するまで変更されません。

アクション

1. サーバーを再起動します。
2. **メンテナンスの実行 > Intelligent Provisioning 環境設定**の順に選択し、UEFI モードを表示します。

Intelligent Provisioning 環境設定に NIC ポートが保存されない

症状

送信をクリックした後に、NIC ポートが Intelligent Provisioning 環境設定に保存されません。

原因

NIC ポートを保存するには、サーバーの再起動が必要です。

アクション

1. **アップデートとインストール用のネットワークインターフェイス**を選択してくださいで NIC ポートを選択します。
2. **送信**をクリックします。
3. サーバーを再起動して、NIC ポートを保存します。

一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される

症状

Intelligent Provisioning 環境設定 > アップデートとインストール用のネットワークインターフェイスを選択してくださいで一部の NIC が不明なネットワークアダプターと表示される。

原因

これは既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

ユーザーインターフェイスの問題

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれる

症状

ローカライズされた画面に英語の内容が含まれることがある。

アクション

- 処置は不要です。機能には影響しません。

特定の UI 項目は表示されるはずだが、欠落しているか正確でない

症状

パフォーマンス メンテナンス > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) の下で、以下の項目が欠落しているか正確でない。

- **サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション**。オプションの数が、UEFI システムユーティリティに示された数と同じではない。
- **電力およびパフォーマンス > I/O オプション**。非ポストプリフェッチオプションが欠落している。
- **システムデフォルトオプション > デフォルトの UEFI デバイス優先順位**。情報が表示されない。
- **ブートオプション**。レガシー BIOS ブート順序オプション上に取り消し線が表示される。メモリオプションの下で、メモリの再マップ情報が欠落している。

注記:

システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション**を選択すると、メモリの再マップ情報を利用できます。

- **アドバンストオプション**。余分なビデオオプションフィールドが表示される。ビデオオプションフィールドは、UEFI システムユーティリティでは表示されない。

原因

これらの UI 項目は既知の問題であり、将来のリリースで修正されます。

アクション

1. 欠落情報を表示するには、サーバーを再起動し、プロンプトが表示されたら、F9 キーを押して UEFI システムユーティリティにアクセスします。
2. システムユーティリティ画面で、**システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU)** を選択します。詳しくは、UEFI システムユーティリティユーザーガイドを参照してください。

ネットワークが、多数のポートに接続しているときに、1つのポートでしか表示されない

症状

ネットワークが、Intelligent Provisioning 環境設定のすべての NIC ポートに接続している場合でも、1つのポートでしか表示されない。

原因

ネットワークポートのアイコンが設計どおりに動作しています。

アクション

1. Intelligent Provisioning にネットワークポートのアイコンが表示されていても、そのポートが接続していないことを意味するわけではありません。いずれかのポートを選択すると、アイコンは、その特定のポートが使用中であることを示す強調色に変わります。

Windows 固有の問題

Windows をインストールできない

症状

Windows Server 2012 R2 または 2016 のインストールがタイムアウトやその他のエラーになる。

原因

次の場合、Windows にインストールしようとするときにタイムアウトになる可能性があります。

1. RAID 1 として 2 台のドライブを構成していた。
2. Linux をインストールした。
3. ドライブを削除した。
4. 1 台のドライブを RAID 0 として構成したが、他のドライブを未割り当てのままにした。

アクション

1. Microsoft DiskPart ユーティリティを使用して古い Windows ファイルを削除して、パーティションをクリアします。詳しくは、*Scripting Toolkit 11.00 for Windows ユーザーガイド*を参照してください。

Windows オペレーティングシステムのインストール時に無人エラーメッセージが表示される

症状

Windows オペレーティングシステムのインストール時に次のメッセージが表示される。

```
Windows could not parse or process unattended answer file [C:\Windows\filename\nunattend.xml] for pass [specialize]. The answer file is invalid.
```

原因

使用しているメディアが、Windows オペレーティングシステムのスリップストリームコピーです。

アクション

1. 正式な Microsoft または HPE ブランドのメディアだけがサポートされています。

自動インストール後、サーバーで Agentless Management Service (AMS) が起動できない

症状

自動インストール方法を使用して Windows をインストールした後、ProLiant Gen10 で AMS が起動できない。

アクション

- AMS をインストールする前に、iLO 5 Channel Interface Driver をインストールします。
- Microsoft API「AddPdhCounter」の問題を解決したアップデートを含んだすべての Microsoft アップデートを適用します。AMSに必要な Microsoft アップデートについて詳しくは、AMS のリリースノートを参照してください。

マルチコントローラーセットアップで Windows をインストールできない

症状

Intelligent Provisioning 3.00 をインストールし、以下の手順（例のみ）の実行後：

1. BIOS/プラットフォームの構成（RBSU）でコントローラーを有効にする。
2. **F10** をクリックして、初期セットアップウィザードで手順を実行する。
3. **メンテナンスの実行 > RAID 構成**を選択し、サーバー内の他のコントローラーの論理ドライブを作成する。
4. 他のコントローラーを選択して、Windows OS のインストールを進める。
5. サーバーを再起動すると、インストールプロセスが停止し次のメッセージが表示される。

```
Set up was unable to create a new partition or locate an existing system partition. See the Setup log files for more information.
```

原因

コントローラーに接続しているドライブに古い Windows ファイルが存在します。

アクション

1. Microsoft DiskPart を使用して、ドライブ上の古い Windows ファイルを削除します。詳しくは、*Scripting Toolkit 11.00 for Windows User Guide* を参照してください。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。